

NUBIC知的財産情報開示

開示日：2006年6月8日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

NUBIC管理番号: **2005000045**

表 題 結合組織増殖因子遺伝子調節領域に結合し、CTGF遺伝子発現を抑制するピロールイミダ

技術分野 化学・薬品 食品・バイオ

適応製品 慢性腎不全、肺線維症、皮膚肥厚性癬痕など、線維増殖性疾患の治療薬

目 的 Connective tissue growth factor(CTGF)遺伝子の特異的に発現抑制することにより、線維増殖性疾患などへの治療薬となり得る新規特異的遺伝子発現抑制薬の提供。

技術概要 ピロールイミダゾールポリアミド(Py-Im)はピロール基とイミダゾール基の任意な繰り返しからなる有機化合物であるが、あたかも核酸同士が認識し合うように一定の法則を持って核酸配列に特異的に結合するきわめてユニークな物質である。この性質を利用して、ターゲット遺伝子の転写調節領域において、転写因子が結合する配列に対しPy-Imをデザインするとその転写因子の効果が相殺され、ターゲット遺伝子の発現を調節することができる。Connective tissue growth factor(CTGF)は、様々な慢性疾患において、組織の線維化の進行を促進させる因子であることが数多く報告され、線維増殖性疾患の治療ターゲット遺伝子として注目されている。そこで、本発明は、CTGF遺伝子調節領域に結合してその遺伝子過剰発現を抑制するPy-Imを提供する。このPy-Imは、CTGF遺伝子の特異的に発現抑制し、しかも何のデリバリー試薬も用いずに、培養細胞やラット組織の核内に高率に取り込まれ、非核酸有機化合物であるので核酸分解酵素による分解も受けず、生体内で極めて安定して効果を発現する。CTGFに対するPy-Imは、今後、慢性腎不全、肺線維症、皮膚肥厚性癬痕など、線維増殖性疾患の治療薬として期待されるものである。

整理番号 10831

担 当 者: 片山 充子

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。
(FAX、e-mail、郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時			
(ふりがな)			
氏 名			
会社名			
所 属		役 職	
電話番号		FAX番号	
E-mail			
連絡事項			

【申込み・問い合わせ先】



日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp